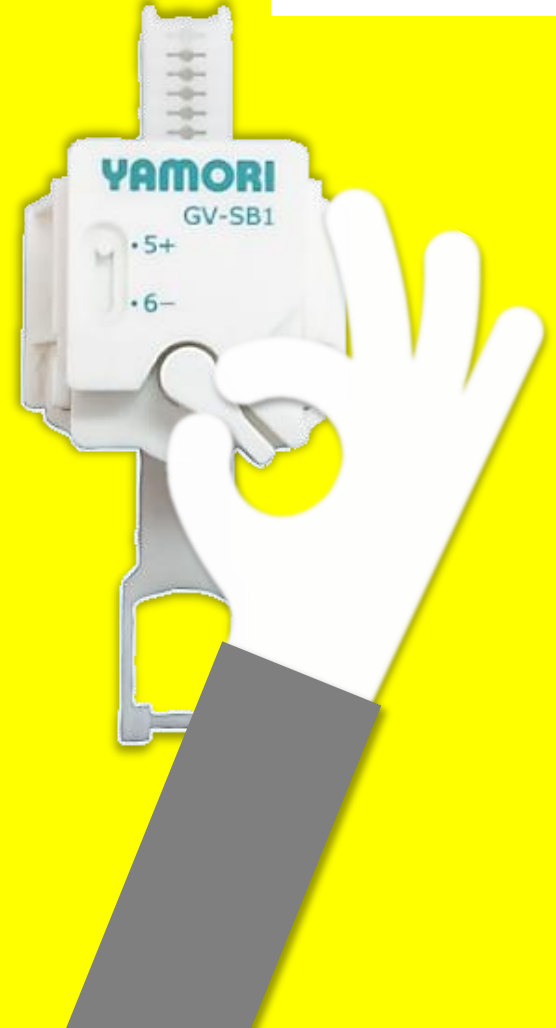


Itabashi Disaster Prevention Plus
Catalogue



いたばし
防災 **+** プラス
カタログ

感震ブレーカーについて



1. 寒いお部屋で設置いただく場合、お部屋を暖めてから設置していただくことをおすすめします。
2. パソコン、録画機器、炊飯器などの電気製品の電源が切れている事を確認してください。
3. ホームセキュリティにご加入の場合、停電になる旨をご加入になられている警備会社へ事前にお知らせください。
通知をせずに作業を行うと、出勤費用が請求される可能性があります。
4. 分電盤は多くの種類があります。そのため、本説明会でご案内を差し上げる内容の中には、ご自身に当てはまらないものも含まれておりますことを、予めご承知おきください。

「こんな感じで作業する」という流れを知っていただくものです。

5. 昼間の明るい時間帯に作業してください。
(テスト時にブレーカーを遮断します。)
6. ご自宅内に人工呼吸器などの生命維持に関わる医療器具が設置されている場合、医療器具に接続された補助電源が確実に動作することをご確認の上、作業を開始してください。
※医療機器に補助電源を設置いただいていない場合、本製品のご使用は、おすすめてできません。
7. 感震ブレーカーアダプターやモリシシリーズに起因して生じたあらゆる不利益に対し、板橋区、リンベル株式会社（板橋区防災用品等配付事業受託事業者）、及び、株式会社リンテック21（感震ブレーカーアダプターやモリシシリーズ製造元）は、一切の責を負いかねます。

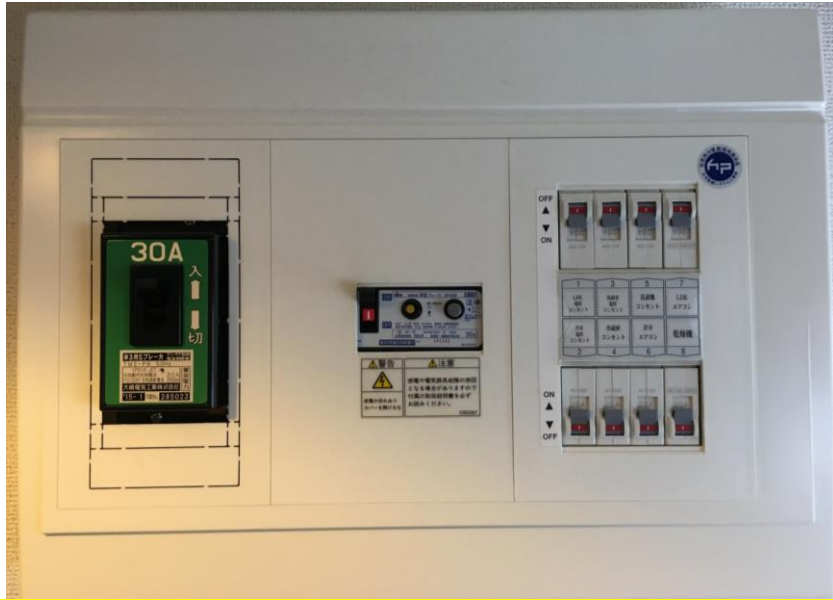
1. 寒い場所で保管していた製品は、暖かいお部屋でしばらく放置してから設置してください。
2. アームフック（赤いフック）は、感震ブレーカーアダプターやモリシリーズの取り付けが完了するまで外さないでください。
フックを最初に外してしまうと、正確な取り付け位置がとれません。
3. 取り付け位置が確定後、添付のアルコールパッドで必ず分電盤の接着面を清掃し、必ず乾燥させてから接着してください。
4. 本製品には強力な両面接着材を使用しております。接着いただく際は、両面接着材が密着するよう、必ず5回ほど接着したものを押し付けてください。押し付けなかった場合、ご使用中に剥がれることにより、ブレーカーが遮断される場合があります。

5. 感震部を台座から外す際に感震部が落下しないようご注意ください。
(テーブル上で行う等、落下による衝撃を最小限に留めてください。)
6. 感震部を台座から外す際は、台座の両脇を両手の人差し指でそれぞれ抑え、両手の親指で推奨マークを押し下げると外しやすいです。
7. 感震ブレーカーアダプターやモリシリーズのバンドは、バンドの余った部分を持ち、“思い切り”引っ張り上げるようにすることでバンドが外れます。
また、製品を固定する部分（爪）を抑えながら外そうとすると、爪の部分に力が掛かってしまい、バンドが折れてしまいます。
バンドが壊れないように、“思いやり”のお気持ちで、じわりじわりと力を掛けることでもバンドが折れてしまいます。

8. 台座から外した感震部を台座に戻す際、台座に刻印された矢印が上に向くようにしてから、感震部を台座の下側から挿していただきます。
9. 分電盤を横からご覧になった際、断面が湾曲・傾斜している場合は、専用の両面接着材を適宜カットして、感震部が垂直に立つように加工していただきます。
10. 感震ブレーカーアダプターやモリシリーズに起因して生じたあらゆる不利益に対し、板橋区、リンベル株式会社（板橋区防災用品等配付事業受託事業者）、及び、株式会社リンテック21（感震ブレーカーアダプターやモリシリーズ製造元）は、一切の責を負いかねます。

感震ブレーカーアダプターヤモリシリーズ 基本的な選び方（1／2）

ふたが無い分電盤＝普段からブレーカーが見える分電盤



感震ブレーカーアダプターヤモリ

感震ブレーカーアダプターやモリシリーズ 基本的な選び方（2／2）

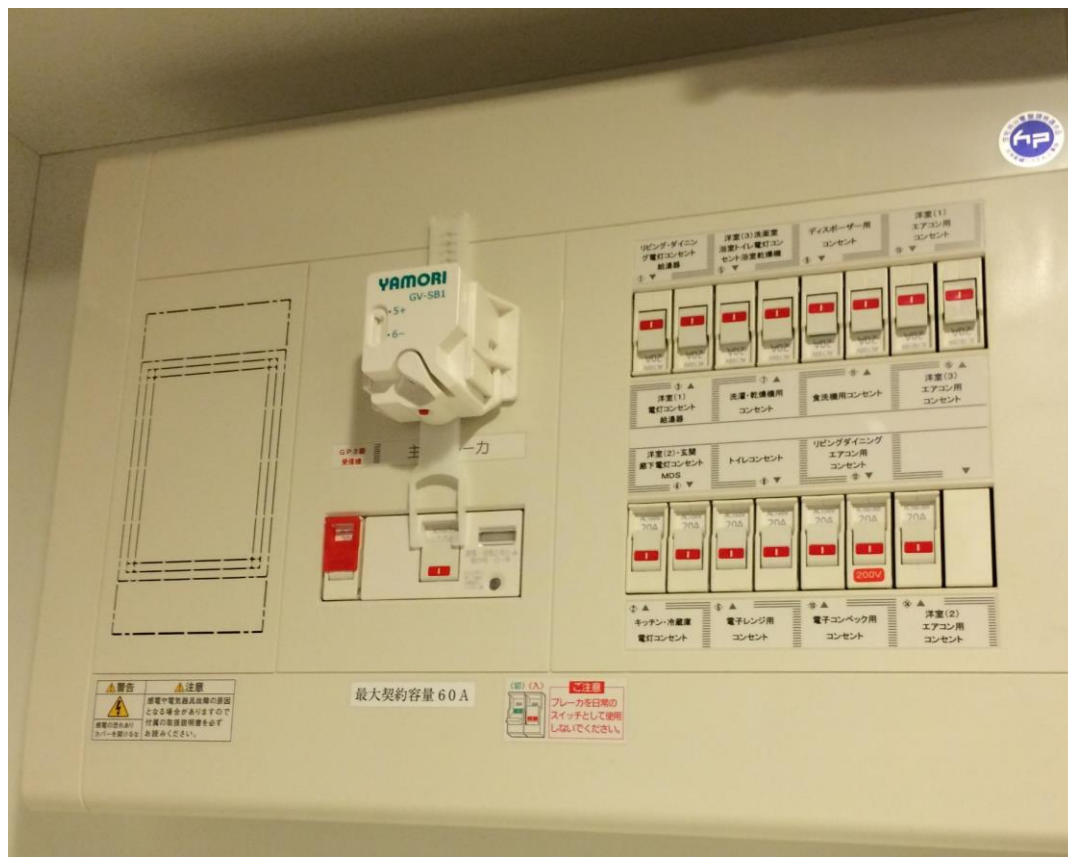
ふたが有る分電盤＝普段はブレーカーが見えない分電盤
ただし、横にヒンジが有る分電盤を除く



ヤモリ・デ・セット

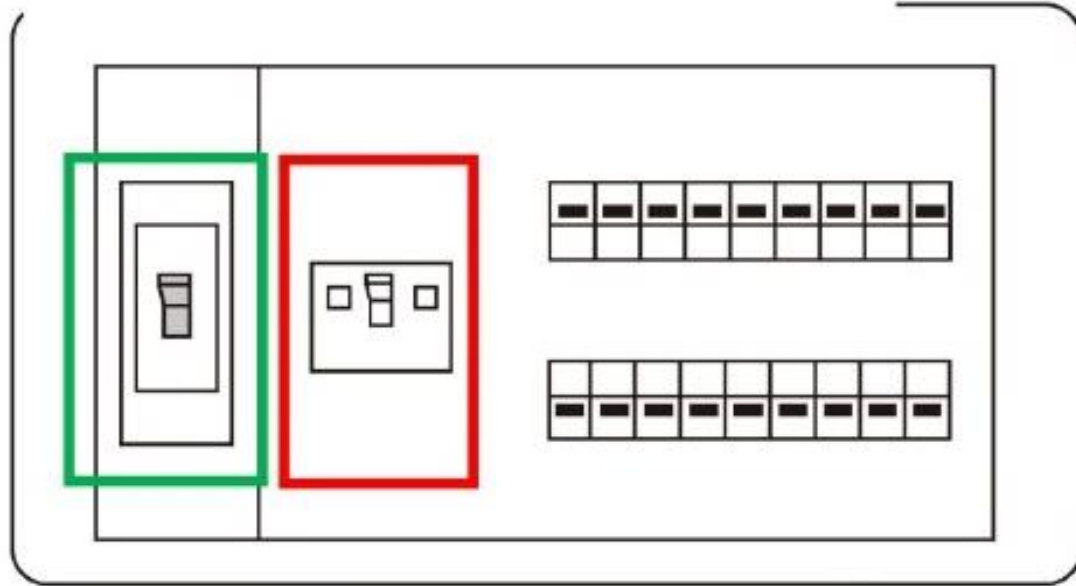
感震ブレーカーアダプターやモリシ리즈 このようなブレーカーにも設置可能

漏電ブレーカーのハンドル（＝レバー）がフラットなもの



感震ブレーカーアダプターやモリシ리즈 設置に必要なとする寸法

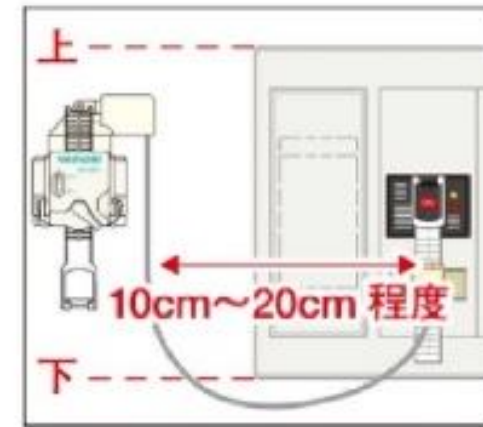
●感震ブレーカー取付位置確認



A：アンペアブレーカー

B：漏電ブレーカー（推奨取付箇所）

●感震ブレーカー（ワイヤー付）取付確認



本体とブレーカースイッチの間隔の寸法をご確認下さい

感震ブレーカーアダプターやモリシシリーズ 設置するブレーカー（1／3）



“漏電ブレーカー” もしくは “アンペアブレーカー” へ設置いただきます
※両方に設置可能な場合は漏電ブレーカーへ設置いただくことを推奨します。
※漏電ブレーカーに設置することが困難な場合はアンペアブレーカーでも可能です。

感震ブレーカーアダプターやモリシリリース 設置するブレーカー (2 / 3)



“アンペアブレーカー” に設置いただきます

感震ブレーカーアダプターやモリシリリース 設置するブレーカー（3／3）

アンペアブレーカーが無い



漏電ブレーカー

“漏電ブレーカー” に設置いただきます

感震ブレーカーアダプターやモリシリーズ 設置不可能となる例（1／2）



ナイフソケット開閉器



屋外に設置された
分電盤



容量が大きいブレーカー



75 A以上100 A以下であれば
パワーヤモリ（別売）を
ご使用いただくことにより
設置可能となる場合がある



横向きに設置された
ブレーカー

パワーヤモリは家電量販店でお買い求めいただけます。

感震ブレーカーアダプターやモリシ리즈 設置不可能となる例（2／2）



漏電ブレーカーも
アンペアブレーカーも
無い



金属製扉が設けられた分電盤

扉内部の空間が少ない

+

扉の枠がGV-AR1のワイヤーを挟む

※扉が開いたままで良い場合は
GV-SB1を設置可能

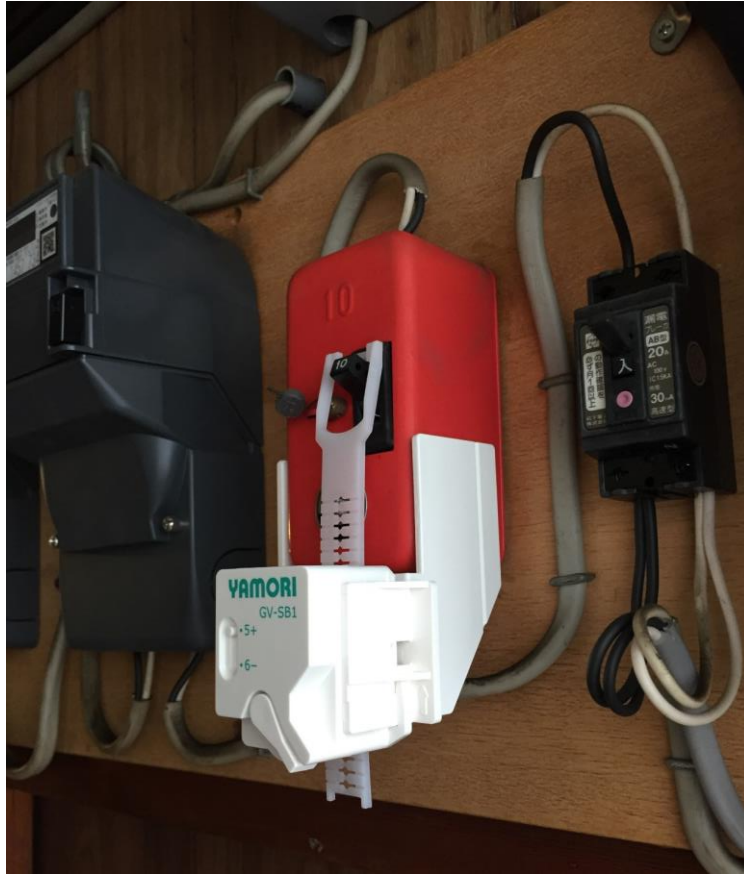
このような場合は補助板が必要です (1 / 2)



漏電ブレーカーが分電盤より奥まった位置に設置されている
＋
アンペアブレーカーが分電盤より大きく突出しており、
GV-SB1の台座による調整範囲を超えている

GV-SB1を接着するスペースが無い

このような場合は補助板が必要です (2 / 2)



既製分電盤を使用していない場合
(木製の板にブレーカーを装着したもの等)

このような場合は加工が必要となります



ゆるい湾曲の場合、ブレーカースイッチにバンドがかかれば
ほぼ問題ありません。

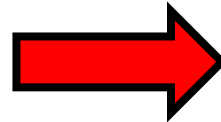
ただ、スイッチの上に取り付けると、曲線度合いによりますが
稀にバンドが滑ってスイッチが落ちきらない場合があります。

そのような場合はスイッチの下側へ取り付ければ問題ありません。

曲線がきつい場合は当社が指定する両面接着材をご使用いただき、
ブレーカースイッチに対して垂直にバンドが掛かるようにする
加工が必要となります。

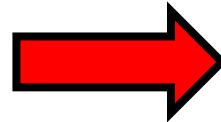
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



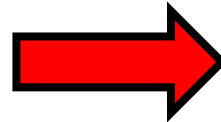
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



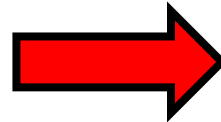
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



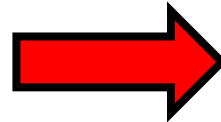
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



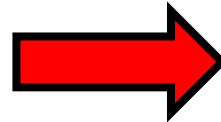
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



YAMORI



株式会社 リンテック21

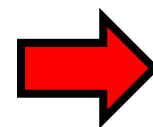
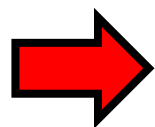
製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ



製品設置例

感震ブレーカーアダプターやモリ＋分電盤の扉のカバー除去

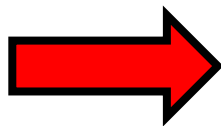


アンペアブレーカー部のカバーを除去



製品設置例

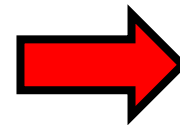
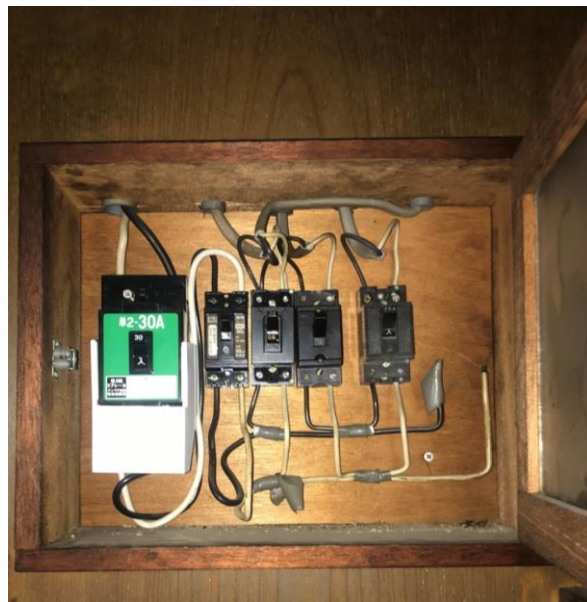
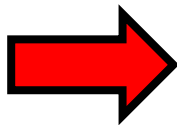
感震ブレーカーアダプターやモリ＋分電盤の傾斜調整



ブレーカー下部の傾斜を両面接着材で調整

製品設置例

感震ブレーカーアダプターヤモリ+補助板

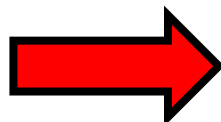


補助板を
アンペアブレーカー下部に
設置

補助板上へ
感震ブレーカーアダプターヤモリを
設置

製品設置例

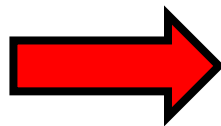
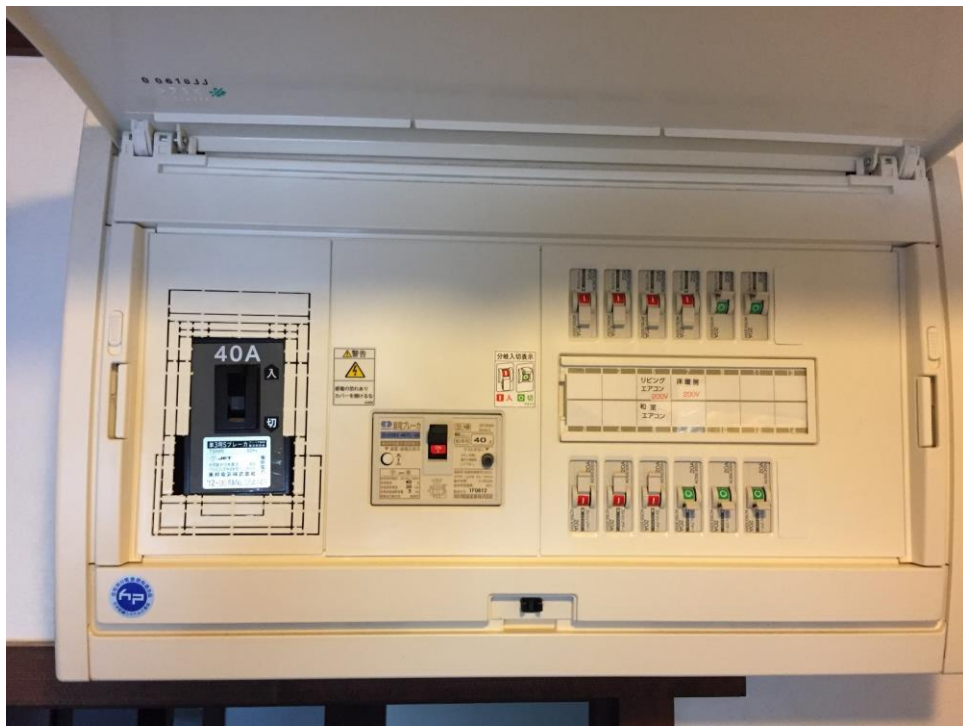
感震ブレーカーアダプターヤモリ+補助板



アンペアブレーカー上部へ接着した補助板上へ
感震ブレーカーアダプターヤモリを設置

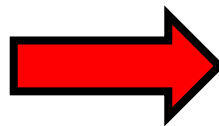
製品設置例

ヤモリ・デ・セット



製品設置例

ヤモリ・デ・セット



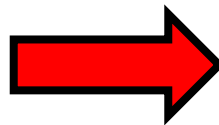
YAMORI



株式会社 リンテック21

製品設置例

ヤモリ・デ・セット



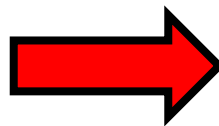
YAMORI



株式会社 リンテック21

製品設置例

ヤモリ・デ・セット



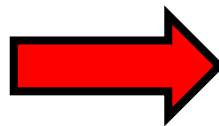
YAMORI



株式会社 リンテック21
LINTEC21

製品設置例

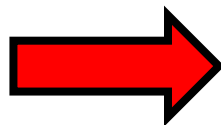
ヤモリ・デ・セット



湾曲を強くした
バンドを装着

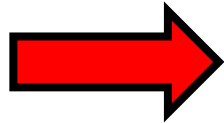
製品設置例

ヤモリ・デ・セット



製品設置例

ヤモリ・デ・セット



YAMORI

製品設置例

ヤモリ・デ・セット



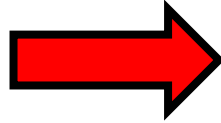
YAMORI



株式会社 リンテック21

製品設置例

ヤモリ・デ・セット



補助板の提供について

必要な方には無償で提供します。

補助板が必要な方：いたばし防災カタログコールセンターへご連絡ください。

補助板が必要な分電盤かどうかお知りになりたい方：株式会社リンテック21へご連絡ください。

☎お問い合わせ先

●いたばし防災カタログコールセンター

電話番号：0800-111-5858 メール：itabashi-bousai@e-cgift.net 聴覚障がい者専用FAX：03-6262-7650

●株式会社リンテック21

※電話では正確にお伝えすることが困難な場合が有りますことから、電子メールにて承ります。

メール：yamori@lintec21.com ※設置をご検討いただいている分電盤の画像を一緒にお送りください。

以降は高島平団地で多く採用されている分電盤への設置方法



① ご家庭内の分電盤の設置場所を確認。



③ 分電盤の蓋を開け、透明部分のカバーを内側から外す。
* 上下左右の4点留めになっている。



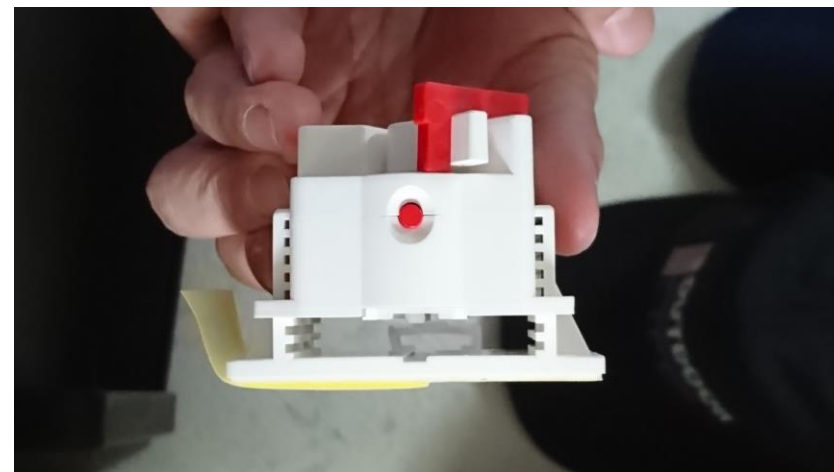
② 透明になっているカバーを取り外します。



④ 分電盤の蓋を閉め、上記のような状態にします。



- ⑤ 貼り付ける位置を確認する。
バンドのブリッジ部分に
ブレーカーのレバーをかける。



- ⑦ ブレーカーの位置に合わせて
台座のスリット位置を調整します。



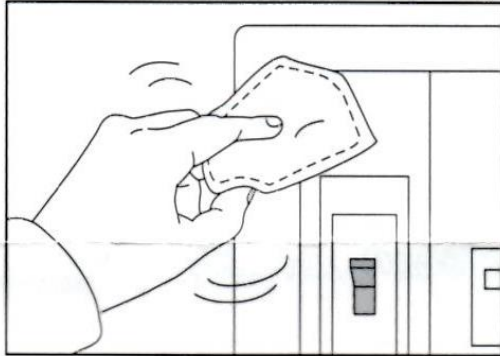
- ⑥ ブレーカーに合わせてバンドを調整します。



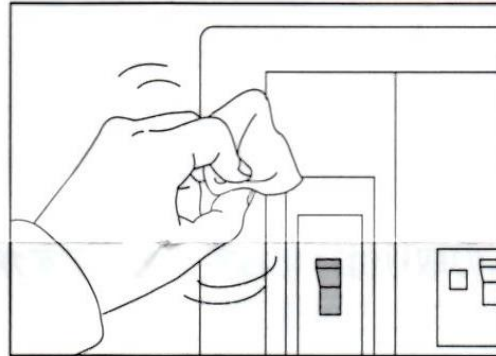
- ⑧ 本体を台座へ戻して、準備完了です。

貼り付ける場所の清掃

接着する位置が決まったら、乾いた布でふいて、ホコリを取り除きます。
付属のアルコールパッドを使い接着部分をきれいにします。
※アルコールが乾くまでは貼り付けないでください。



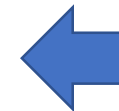
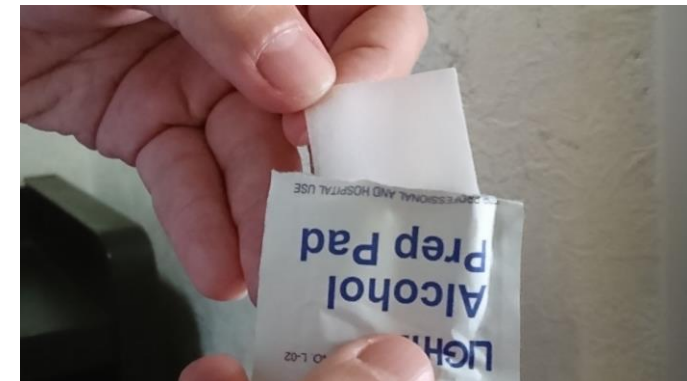
布で軽く拭く



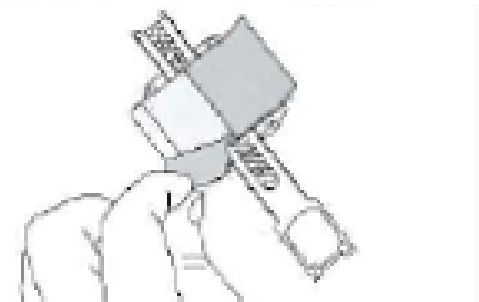
アルコールパッドで仕上げ



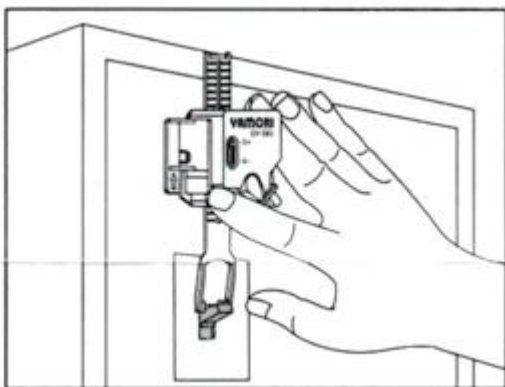
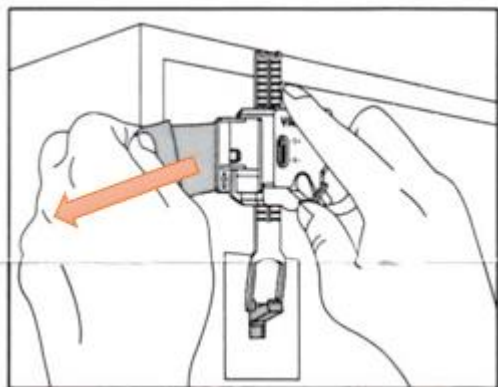
- ⑨ 付属のアルコールパッドを取り出します。



- ⑩ 貼り付け位置のホコリを取り除き
付属のアルコールパッドで清掃します。



小さい方の剥離紙を剥がす



- ⑪ 左記の様に台座裏の小さい方の剥離紙を剥がします。
目で見てもほぼ垂直になるように貼付けます。



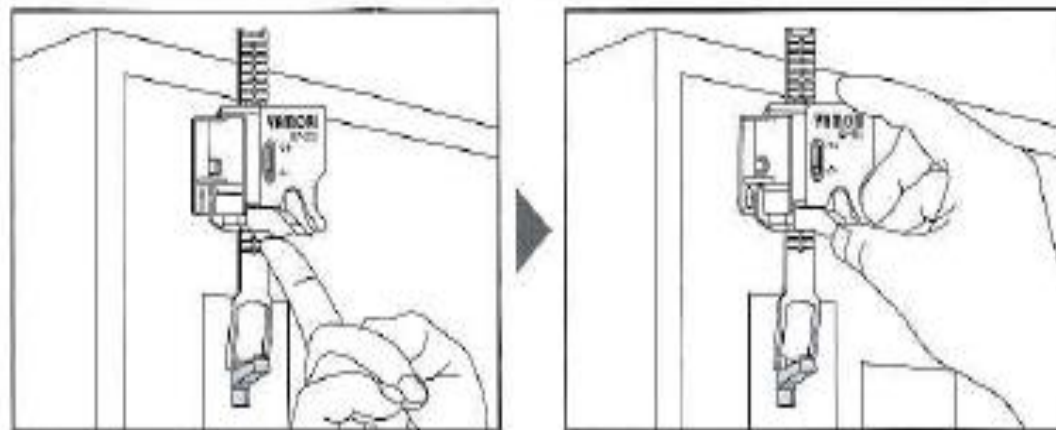
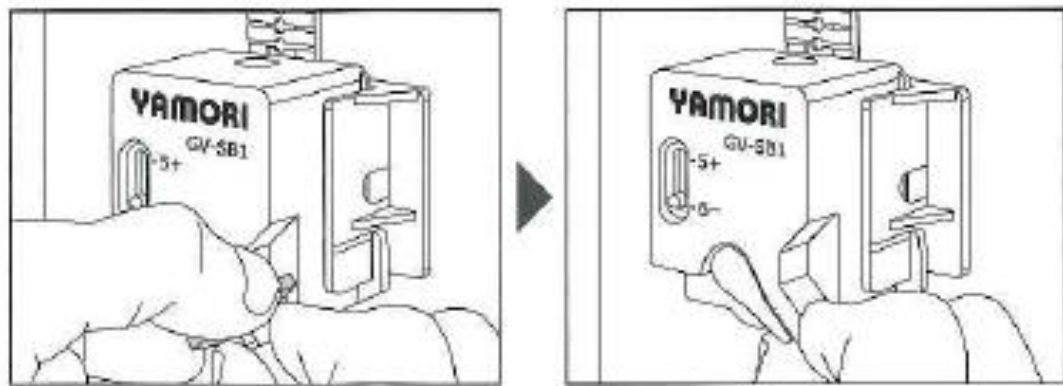
- ⑫ 外に出ている残りの剥離紙を外へ引きながら剥がします。



- ⑬ 本体の中央部を5回ほど強く分電盤の方向に押してください。

アームフックの取り外し

右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。右手はセットアームを保持したまま、さらに強くつまみセットします。



赤いテストスイッチを押す

【動作テスト】

設置が完了したら、左図の手順でアームフックを取外し、本体下部にある赤いテストスイッチを押して動作テストを行ってください。

動作テストを行う際には、2ページに記載致しました「取付時ご家庭内注意事項」を再度ご確認ください。

【復旧方法】

動作テスト終了後、左側に向いているセットアームを右側に動かし、カチッと音がする所まで動かして下さい。右側で固定状態になった段階でセット完了です。最後にブレーカーのレバーを「入」にして終了です。